

## 平成 26 年度第 1 回西脇市文化財保護審議会 会議録

- ◆開催日 平成 26 年 11 月 13 日(木)
- ◆時 間 午後 2 時開会 午後 3 時 45 分閉会
- ◆場 所 生涯学習まちづくりセンター
- ◆出席委員 小林会長 桂副会長 瀧原委員 佐野委員 埴岡委員
- ◆欠席委員 絹川委員
- ◆事務局 笹倉教育長 小西教育部長 森脇教育総務課長  
榎原生活文化総合センター館長 菅澤

### 次 第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 報告及び意見交換
  - (1) 西脇市立西脇小学校校舎改築について（経過報告及び今後の方針）
  - (2) 平成 26 年度文化財関係事業の進捗状況について
- 5 その他
- 6 閉会

### 会議録

#### ○事務局

審議会に先立ちまして、事務局職員の紹介をさせていただきます。省略

それでは、昨年の会議でも説明していますが、平成 25 年 1 月に定められました「西脇市自治基本条例」に基づき、西脇市文化財保護審議会議事録を作成し、公開することになっていますので、その記録を作る必要があることから、会議を録音させていただきますので、御了承をお願いいたします。また、絹川委員は、所要で欠席でございます。

ただ今から、平成 26 年度第 1 回西脇市文化財保護審議会を開会いたします。

#### 会長あいさつ

##### ○会長

寒くなってきました、今日は、西脇小学校の改築についてその後の委員会、状況報告をさせていただきます。教育総務課長から説明していただきます、本日はよろしくお願ひします。

#### 教育長あいさつ

##### ○教育長

2 月 25 日以来の会議になります。1 名委員が欠席ですが 6 名の委員さんにお世話になります。西脇小学校に关します報告をさせていただきます。ご審議もありますがご示唆をいただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

## 報告及び意見交換

### ○会長

(1) 西脇小学校校舎改築の経過報告及び今後の方針について、よろしくお願いします。

### ○事務局

別冊資料に基づき説明する。記述省略

### ○会長

質問ありましたら 検討委員会1回目、2回目の時は、専門的なことばかりだと感じたが、委員長の思いを聞き、委員長の意図がわかり、勉強させていただきました。アンケートを見ても賛否をとるものではないということで、検討委員会での重みを感じました。

### ○事務局

教育環境面、費用的面、文化的価値等おおむねの額等で表し、◎○等で表記し委員の意見を聞き協議を進めています。

### ○会長

新しい教育に順応できるような部屋割等、地域の人に対応する施設など色々な意見が出ていました。

現場の先生方の意見も取り入れていくこと、障害児に対応した施設、バリアフリーも考慮し、エレベーター等要望と現実がどのようにかみ合っていくか。文化財に指定された場合、そうでない場合の補助金の話をされていましたね。

### ○事務局

基本的に、和歌山県高野口小学校でも改修された後、文化財登録されましたが、文化財的な補助はないが、将来的に先の話になるということです。

### ○委員

その他の意見でもありましたが、1棟のみを保存し、別の形で資料館とか別の活用をすればいいという意見が多いのかなと感じましたが、新聞報道では、耐震補強工事と新築建て替えでは費用的に変わらない意見とか、施設設備面でも改修できることなどの記事でありましたが、そのあたりはどうなのですか。

### ○事務局

基本的に木造建築に詳しい先生方ですが、費用をどれだけかけるかにもよる。木造の技術が進んでいても、この壁は残す必要があるなど制限もある中、自由な間仕切りができない等、どこまでするか、それぞれの委員の意見も出てくると思っています。

### ○委員

もしも1棟を文化財的に残すだけで良いのなら、耐震工事だけで良い、児童が使わないのなら、少しレベルが落ちても大丈夫なのかなと考えますが。

### ○事務局

始めは1棟残しも良いという意見も出ていましたが、制約が出てくる。資料館等の施設に使うなどの意見をお持ちの方もいますが、反対に同じ敷地の中で、学校区域とそれ以外

の区域という管理面において、クリアしないといけない問題がたくさんあり、難しいといった面があること、費用面でも1棟残しの方が高くつく場合もあるのではという意見もあり、トータル的に現在検討をさせていただいています。

○委員

文化財的な価値は高いと思うので、将来的には西脇市の文化財になんとか残らないかなと思います。

○教育長

1棟残しの案も色々協議されましたが、近年、非常に子供の安全安心の面から考えて危険を生じる。別のところで残せば良いが、景観形成の価値がないなど色々な意見が出た中で、今新聞記事の形になっている状況であります。

○委員

以前一度方向が決まったが、市民から反対されて再度検討することで、今回検討委員会を設けられたが、市民の意見があったのか、そういう方の意見を聞かれたのか。

○事務局

委員の中にも公募して入っていただいて、意見を言っている。中立な委員ばかりではないが、意見を出していただき、専門的な観点からのアドバイスを受けながら進めているところが現状であります。

○委員

どちらにせよ、改修すれば文化財としての価値は残らない、外観は残るかもしれないが、内装等は変わってくるものですね。

○事務局

高野口小学校も内装は変わっています。しかし天井の施工に工夫がある、建具にしても昔のイメージを残しながら建具も変えとか、そのような手法で昔のイメージを残す手法等を用いられています。

○委員

私の出身大学校も床暖房が入るなど、改修しても文化財指定にはかわらないようになっています。

○事務局

教授も昔は釘1本使えなかったと言われたが、今はそういうこともないようであります。

○委員

地域の残そうとしている人たちは、昔のまま残そうと言われているのか。

○事務局

1棟残すのはなかなか難しい。3棟残すか、全面改築かの選択になるのでは。

○委員

3棟残しの場合でも、児童数は減るわけでしょう、将来的にどうなのか。

○事務局

2040年まで児童数の試算をする中で、児童数は減っていくが、今のまま2クラスで推移する見込みであり、今後クラス数は今と変わらない状況であります。

○会長

耐震構造は変わるが、上の部分たとえば腰板、窓、階段等はそのまま使えそうですよ、そういう話をされていた。天井なども裏で補強し、多目的教室のことも桁と梁等の補強を検討する中で、建築の材料が発達しているのだから、かなり大型のものでも木造でできるようです。今は建築材もしっかりしてきているようだ。うまく昔のものを表面に残したままで、後ろでカバーするなどの方法です。よろしいです。

○委員

バリアフリーの問題が一番、教育環境の面からカバーできるなら、改築でよいという意見も大きくなるのかなと思ったのだが、反対する意見が強くなると思う。校長先生や子供たちも木造校舎に誇りをもって生活しているとの意見も書いてあったが、バリアフリーは難しいですか。

○事務局

周りの地形から床が80cmほど上がっているが、中廊下の所でスロープを付けているが、そこでけがをする個所でもあると言われていた。完全に解消するものではないが教授の話では、技術的にはある程度可能であるとも言われていました。

○会長

手洗い、便所、エレベーターの話になってくると難しい、2階でも作るという問題が出てきたら様子が変わってくる。

○事務局

高野口小の例でも、木造の中にコンクリートを打って、平屋ですが便所を設置されている。そういうやり方も可能であり、2階にもトイレは可能であると言われていました。

○委員

戦前の古い木造校舎を改築して、保存してそれは後に文化財としている例はいくつかあること。西脇小学校についても建築専門委員が耐震補強もバリアフリーのことも現在の技術的に問題ではなく、木造校舎を文化財として、どう残しかつ教育施設として引き続き活用していくかを文化財保護審議会として意見をまとめるべきである。文化財保護審議会なのだから、やはり地域に残っている歴史資産は、できる限りは守り伝えていく、残していきたいと思いますという、極当たり前の結論を出すのがよいと思う。たぶん、新しい西脇市史も10年、20年後に出される時に、西脇小学校の問題も1ページに出てくると思うが、その時に文化財保護審議会もどういう協議をしていたのかと言われぬように、しっかりした協議をしておくことが必要であります。

○会長

結論が出たような感じになりました。次にいかせていただきます。

(2)平成 26 年度文化財関係事業の進捗状況について

○事務局

4, 5 ページに記載しています。記述省略

○会長

意見がありましたら、どうぞ。

○委員

市教委が直接かかわることではないが、市原・新池工事の無届けについて、なぜ起こったのか原因、理由を聞いていますか。

○事務局

通常であれば、県事業であれば県教育委員会で包蔵地の中か否かの紹介をされることとなっているのに、連絡調整ミスであります。

○委員

公共工事の開発であれば、事前に調整することは、30 年前からの話であり、全国的にどこかで発覚している事件もあるが、兵庫県の文化財行政のレベルが高いのに今頃事案があることなぜかと思っているが。

○事務局

県教委の席にある職員が、3 年前から激減していることも、外から見ていて一つの要因かとも思う。土地改良事務所が平成 22 年度も一度やっていることであり、始末書も出されています。

○会長

場所はどの辺なのか。

○事務局

市原町から出会町へ行く峠の右手側であります。

○事務局

ため池の改修工事で、堤防工事をしている所の山側の部分を掘削していたことが問題であります。

○委員

その現場の土地所有者は、どこなのか。

○事務局

地元市原町であります。

○委員

県教育長から北播磨県民局長に通知という文書で通知されたが、申し訳なかったとの挨拶などはその後にあったのですか。

○事務局

電話では直接担当者から連絡ありましたが、二度とないように調整することをお願いしている所であります。

○委員

勝手に工事しておいて、電話1本ですまないということは、本当にそれだけですまないことだと思う。とんでもないことである。

○会長

農林が担当しているのか、

○委員

兵庫県が直接担当しているものである。

○事務局

受益者負担もあり、土の利用もあつてと聞いています。

○会長

莊嚴寺多宝塔の修理はどうなっているのか。

○事務局

県にお願いしていますが、西仙寺の修理完了後にする予定になっています。

○会長

莊嚴寺の方が先ではなかったのか。

○事務局

前任者からの引き継ぎでも、順序はそう決まっているものであります。県補助金負担もあり、着手が延びてきている状況ではあります。

○会長

ふるさと探訪ハイキング9回目の参加者8人であり、少なく寂しいことである。

○事務局

例年の参加者には案内をさせていただいたが、360メートルの山に登ることもあり、今回参加を控えるとの連絡もありました。今後、十分PRしながら検討させていただきたいと思えます。

○会長

楽しいものにするために考えること必要である。

○委員

すてきなふるさと知っ得プランは、地域住民に地域の文化財を知ってもらうことが大事であり、本来人が集まりやすいと思うが、対象者も含めどのような企画を立てるか、発信するか、コース設定も含め検討して、楽しいものになるように考えてもらいたい。

○会長

企画をもっと考えてもらいたい。

○委員

他の部署と連携すること、健康増進に向けてなどを考えてみてはどうか。

○委員

2年ほど前に3館でのミュージアムまつり事業をされたように思うが。

○事務局

一度、テラドーム、岡之山美術館、郷土資料館でワークショップを合同開催したことがあります。

○委員

研究紀要『童子山』の件ですが、今回も立派なものできていますが、教育委員会報告の前年度の評価が4であったが、いつまでも先生ばかりに頼らず、バラエティーにとんだ物にしていくこと必要ではないかと思いますが。

○事務局

『童子山』については、その通りであり、今後十分検討していく必要があると思っています。

○委員

今の意見は、もったもであると思います。

○委員

民族行事の調査を実施したと聞いたが、声をかけていただければ、一緒に見に行ければと思っています。

○事務局

声掛けをしますので、よろしくをお願いします。

その他について

○事務局

教育委員会事務局組織図、配置職員、所管業務の報告をする。記述省略

○委員

図書館長が決まられたことでよかったと思うが、嘱託ということなのか。

○事務局

嘱託職員募集をして4月から図書館館長をお願いしています。来年度の秋に茜が丘に図書館が移転することも含めて館長を募集したものであります。

○委員

大変経験豊かな有能な方が来られたと市民の方から聞いています。そうした館長が見て下さるのがいいと思い聞きました。

○委員

移転した後の郷土資料館、図書館施設のスペースはどうなるのですか。

○事務局

他の施設との関係がありますが、公共施設の在り方を市の中で検討委員会を設け検討していくことになっています。当初資料館の拡充という部分も意見として出ていますが決まっています。

○委員

いつごろ決定になるのか。

○事務局

来年度中になる予定であります。

○委員

資料館だけで全部施設を使うこと、言えないのか。

○事務局

今の状況でははっきりと言えないということであります。

○委員

大リーグ展の関係はどうなのですか。

○事務局

「今里純野球展」の関係でありましたが、今の時点では、寄付等は受けていない状況であります。有志の方が「今里純野球展」を開催されたものであって、まだ整理ができていない状況であると思います。

○委員

きちっと寄付を受けて、そういうコーナー展示があれば、いいなとは思いますが。

○事務局

まだそこまで話は行っていないところであります。

閉会

○副会長

西脇小学校問題もなかなか大変であります。財政が伴うことであり、新しい建物、県指定など西脇市がどう要請していくか大事であると思っています。本日はありがとうございました。